

議会だより

3月定例会

町議会3月定例会は3月10日(金)から24日(金)まで開かれ、24議案(うち1件は議員提出議案)を審議し、すべて可決しました。主なものは平成元年度一般会計予算、国民健康保険・老人保健特別会計予算、水道・ガス事業会計予算、消費税導入による町税条例、水道条例、ガス条例の一部改正、町道の認定、ふるさと創生事業基金条例などです。請願・陳情はそれぞれ1件上程され、消費税廃止を求める請願が不採択、陳情は採択されました。一般質問には9人の議員が立ち、新潟市との合併問題、山田小学校、老人福祉などについて町長にたずねました。

日程
3月10日(金) 会期の決定。施政方針と議案の上程。議案の説明、質疑、討論、採決(議案第3号) 議案の説明、質疑、委員会付託(議案第4～24号) 請願・陳情の上程、質疑、委員会付託。
13日(月) 総務文教委員会
15日(水) 産業建設委員会
16日(木) 厚生企業委員会
17日(金) 20日(月) 一般会計予算審査特別委員会
22日(水) 一般質問
24日(金) 委員長報告、質疑、討論、採決(議案第4号～24号) 請願・陳情の審議報告、質疑、討論、採決。議案の上程、質疑、討論、採決(議案第25号、議員提出議案第1号)

平成元年度一般会計予算案 ガス、水道条例の一部改正など 24議案を審議可決

議案

■固定資産評価員の選任について(議案第3号)
渡辺渡氏(役場税務課長)を選任することに同意。

■黒崎町職員の寒冷地手当の支給に関する条例の一部改正について(4)
国家公務員の寒冷地手当の支給に関する法律の一部改正に準じて改正。

■昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の制定について(5)
昭和天皇の崩御に伴う国家公務員等の懲戒免除に関する

政令及び昭和天皇の崩御に伴う予算執行職員等の弁償責任に基づく債務の免除に関する政令の公布に伴い、公務員等の懲戒免除等に関する法律により制定するもの。

■黒崎町ふるさと創生事業基金条例の制定について(6)
ふるさと創生1億円を基金として積み立てる条例。「第三条 基金に属する現金は、金融機関への預金、その他確実かつ有利な方法により保管しなければならない。」第四条 基金の運用から生じる益金は、一般会計歳入歳出予算に計上して、ふるさと創生事業の推進のため、活用するものとする」

■黒崎町税条例の一部改正について(7)
消費税込額を含む税制改革六法案が国会で成立したことに伴う改正。町たばこ消費税、電気税及びガス税がなくなり、町たばこ税が新たにできるなど。

■平成元年度黒崎町一般会計予算(20)
■平成元年度黒崎町国民健康保健特別会計予算(21)
■平成元年度黒崎町老人保健特別会計予算(22)
■平成元年度黒崎町水道事業特別会計予算(23)
■平成元年度黒崎町ガス事業特別会計予算(24)
※4月号で紹介済み

■黒崎町ガス供給条例の一部改正について(25)
消費税法に準じて改正するもの。料金をわずかに引き下げたが料金などに3%の消費税が上乗せされる。

■自動車等運転免許証の更新

業の推進のため、活用するものとする」

■黒崎町立学校施設使用に関する条例の一部改正について(9)
元号が平成に改正されたことに伴い、様式中に昭和とあるのを削除するもの。

■黒崎町総合体育館設置及び管理条例の一部改正について(10)
町有地を分筆したため改正位置は「大字金巻七百四十六番地」から「大字金巻七四六番地一」に。

■黒崎町立図書館条例の一部改正について(11)
町有地を分筆したため改正

及び定期検査の事務取扱に
関する決議について
(議員提出議案第1号)
次のような決議を行った。
「自動車等の運転免許証取得者は三年に一回の更新手続きと定期的に適正検査を受けなければならない。この手続きは現在、当町寺地内にあり、交通安全教育センターで行われていますが、平成元年五月六日から新潟東港工業地域に移転予定と伝えられております。これが移転されれば、当黒崎町の地域住民が大変不便を生じることは言うに及びません。これからの交通事情の混雑等を考慮し、地域住民の利便確保のため、新潟県当局におかれては免許証の更新並びに定期検査の実施については、黒崎町を包含する警察署管内において実施されるよう強く要望しここに決議する」

■消費税の廃止を求める請願書(請願第1号)
提出者 黒崎町消費税反対各界連絡会代表 小島寿夫
第百十三臨時国会で強行された消費税は、年一人当たり五〜六万円の負担が押しつけられ、大金持ちも所得の低い人も同じ税率で税金を負担させられる不公平税制で、自民党が繰り返す「やらない」と公約していた大型間接税そのものである。地域住民の要求にこたえ、消費税の廃止を求める意見書を採択のうえ、関係機関に働きかけるよう請願します。 ※不採択

■中之口川堤防改修工事に伴う側道設置に関する陳情書(陳情第1号)
提出者 善久自治会長総代 武樋繁雄 ほか2名
中之口川堤防改修工事施工に伴ない、これを機会に少なくとも幅員6m以上の側道の設置について、町当局は建設省当局(信濃川下流工事事務所)への折衝などを配慮していただきたい。 ※採択

請願

陳情

一般質問

(要旨)

ふるさと創生1億円の町の方針は 議会や町民の意見聞き、方針決定

A議員 地域づくりには地方が知恵をだし、中央がそれを支援するということで、ふるさと創生事業の一億円が交付されている。他の地方公共団体での運用例と黒崎町での方針を。

町長 近隣市町村の方針や例では、三月份例会で基金条例を上程し、平成元年度に内容を検討することが大部分。

当町でも今回の議会でも基金とする条例を上程した。議会や町民の意見を聞き、実施案を作成、関係機関と協議して方針決定したい。みんなから知恵を出してもらって、国の考えていることに基づき、国の考へることにふさわしいものに取り組みたい。

総務課長 自治省ではソフト事業主体に考えているようだ。個性豊かな地域おこしの

町長選挙の結果どう受けとめている 結果は厳粛なものを受けとめている

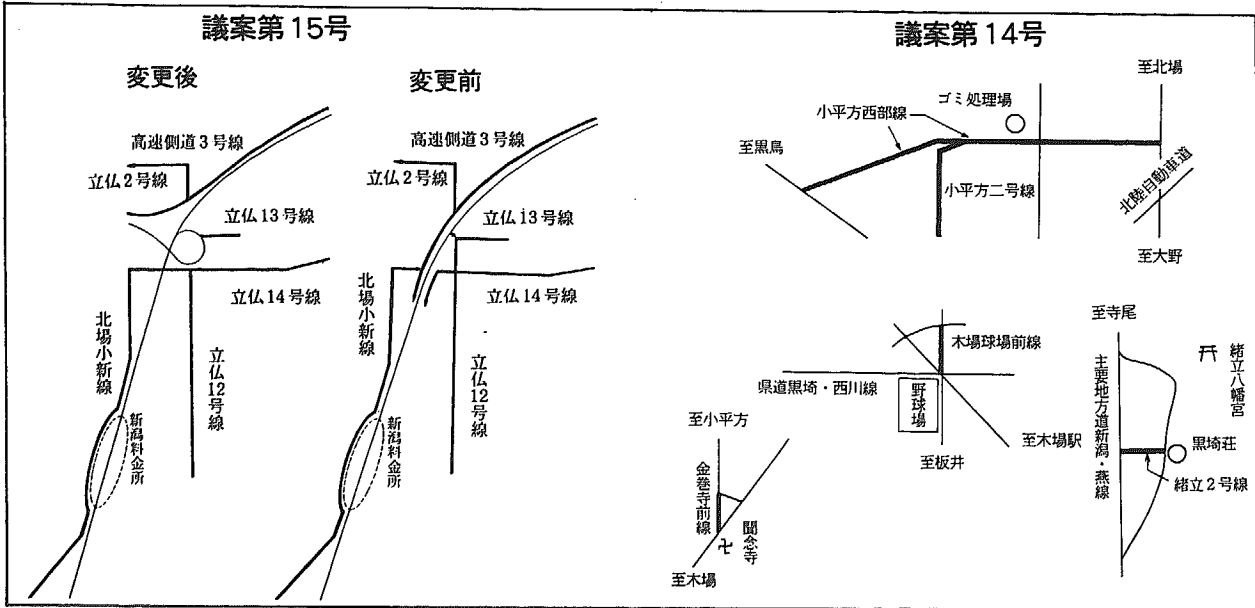
B議員 今回の町長選挙の結果をどう受け止めているのか率直なところを聞きたい。

町長 選挙結果は厳粛なものを受け止めている。町政の正常化の問題、いろいろな疑惑

新潟市との合併のプロセスは 検討委発足しアンケート実施

D議員 新潟市との合併について ①新潟市の考えは ②

で考え、みんなが実践するということ考え方を尊重したい。



位置は「大字金巻七四六番地一」から「大字金巻七四六番地四」に。

■黒崎町水道条例の一部改正について(12)
消費税法に準じて改正するもの。料金などに3%の消費税が上乗せされる。

■黒崎町道路路線の廃止について(13)
小平方二号線が、県から移管を受けた小平方西部線と重複認定となるため、廃道とするもの。

■黒崎町道路路線の認定について(14)
五路線を新たに町道認定。(5ページ下図参照)

■黒崎町道路路線の変更認定について(15)
新潟西バイパスの開通に伴い六路線を変更。(5ページ下図参照)

■昭和63年度黒崎町国民健康保健特別会計補正予算(第4回)(17)
歳入歳出とも1892万5千円減額して総額9億7777万1千円に。

■昭和63年度黒崎町水道事業会計補正予算(第3回)(18) 内容略

■昭和63年度黒崎町ガス事業会計補正予算(第3回)(19) 内容略

■昭和63年度黒崎町一般会計補正予算(第7回)(16)
歳入歳出とも2926万1千円を増額し、総額43億8194万8千円とする。
◎補正された主なもの
①歳出 持家住宅建設資金貸付金1750万円減、ふるさと創生事業基金積立金2000万円増、教育施設整備基金積立金6000万円増など。